

お天気解説 アキラのズバッと

地区による冷え込みの差

令和8年4月17日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

シリーズ『江戸川区の気候特性の地域による微妙なちがい』第3回は「地区による冷え込みの差」です。

今年の春は気温が高い状態が続いていますが、先日のように寒気が下りてくる日もあり、多摩地方では遅霜の降りた所もありました。これは寒気に加え、夜によく晴れて風が弱くなると地表の熱が奪われて冷え込みが強まる現象

(放射冷却)の影響です。この現象は移動性高気圧が本州上を通過する時によく起こり、区内では小岩・鹿骨など陸側と、葛西・東部など海側では冷え込みがちがあるようです。そこで、鹿骨と南葛西の最低気温を比べてみました(都観測点のデータによる)。

図1は昨年4月1~17日の例です。4日や8日、16日は両地点とも冷え込みましたが、両地点の気温差は、これら冷え込んだ日のうち8日以外は差が大きくなり、陸側の観測点である鹿骨の方が1~2℃低くなる傾向が見られます。

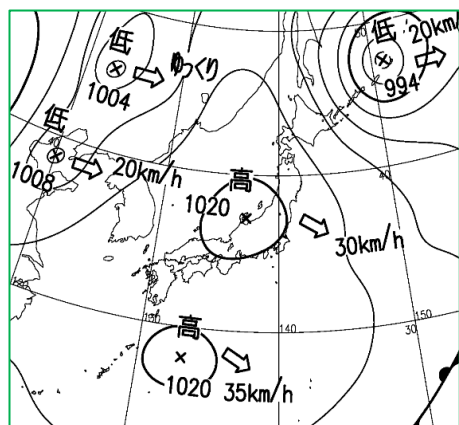


図2 4月5日03時の天気図(気象庁速報天気図より)

5日03時の天気図(図2)を見ると、大陸から高気圧が本州上に移動し夜は晴れて、等圧線の間隔が広く風が弱くなったため放射冷却が起こりやすい状況でした。この日の最低気温は鹿骨で5.6℃、小岩駅に近い葛飾区鎌倉では4.3℃でした。一方、12~13日は気温が下がりましたが、風が吹いたことや曇ったことで放射冷却は起こらなかったようです。春、風の無い晴れた夜は区の北部ほど冷え込み、他の地区より1~2℃低くなる傾向があるようです。

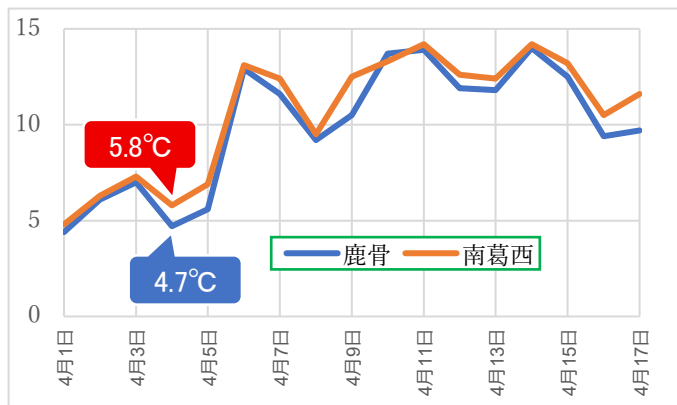


図1 鹿骨と南葛西の最低気温

(出典データ:環境省 HP <https://soramame.env.go.jp> から作成)

2026年04月17日11時 気象庁 発表			
日付	今日 17日(金)	明日 18日(土)	明後日 19日(日)
東京地方	晴後曇	晴時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	-/0/10	10/0/0/0	10
信頼度	-	-	-
東京 気温 (℃)	最高	21	23
	最低	-	12
			26 (23~27)
			12 (10~14)

東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

週末は晴れて、気温は平年より高くなる予想です。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。